

施設の状況比較・防災面の比較（内海中学校、豊浜中学校）

評価項目			内海中学校	豊浜中学校	
① 利便性	学校の位置（通学に係る利便性）		南知多町の西側に位置しているため、特に師崎地区（両島地区）からの距離が長くなる。	南知多町の中央に位置しているため、豊浜地区以外の各地区からの距離が平準化される。	
	地区の小学校からの距離		内海小学校から 約 1.0 km 豊浜小学校から 約 8.6 km 大井小学校から 約 12.8 km 師崎小学校から 約 13.1 km	内海小学校から 約 9.0 km 豊浜小学校から 約 1.5 km 大井小学校から 約 4.4 km 師崎小学校から 約 5.8 km	
	師崎港から学校までの距離		師崎港から 13.4 km	師崎港から 6.5 km	
	公共交通機関	師崎港から最寄りのバス停までのアクセス	海っ子バス（西海岸線） 師崎港～内海駅 28分	海っ子バス（西海岸線） 師崎港～豊浜 10分 【豊浜バス停で豊浜線に乗換】（豊浜線） 豊浜～南知多町役場前 3分	
		最寄りのバス停から学校までのアクセス	内海駅から 徒歩約 5分	南知多町役場前から 徒歩約 7分	
		最寄り名鉄駅から学校までのアクセス	名鉄《内海駅》 ・徒歩で約 5分	名鉄《河和駅》 ・海っ子バスで 約 30分 ・バス停まで徒歩 約 7分 （スクールバスで約 15分）	
	救急時の搬送	知多南部消防署との距離	3.7 km	1.2 km （南知多分遣所）	
		搬送先との距離	知多厚生病院 6.2 km	浜田整形外科 6.6 km	
	最寄りの交番・駐在所		南知多町幹部交番 0.9 km	豊浜東駐在所 1.5 km	
	町の主要施設との距離		町総合体育館 9.3 km 町運動公園 9.7 km 町役場 9.3 km 町民会館グラウンド 1.7 km （町民会館図書室）	町総合体育館 1.2 km 町運動公園 5.0 km 町役場 0.4 km 町民会館グラウンド 10.0 km （町民会館図書室）	
評価項目			内海中学校	豊浜中学校	
② 施設の 状況	施設の概要	本校舎	床面積	2,956 m ²	3,309 m ²
			建築年	S39年	S46年
			築後経過年数（※1）	55年	49年
		特別教室棟	床面積	663 m ²	1,291 m ²
			建築年	S57年	S46年
			築後経過年数	38年	49年

評価項目			内海中学校	豊浜中学校
施設の概要	体育館	床面積	1,454 m ²	1,509 m ²
		建築年	S63年	S46年
		築後経過年数	32年	48年
	運動場	面積	12,069 m ²	9,332 m ²
教室数	普通教室	6室 (398 m ²)	5室 (338 m ²)	
	特別教室	(理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科室2、コンピュータ室、図書室、特別活動室3、教育相談室2、進路指導室) 14室 (1696 m ²)	2(理科室2、音楽室、美術室、技術室2、家庭科室2、視聴覚室、コンピュータ室、図書室、特別活動室9、教育相談室3、進路指導室) 24室 (2405 m ²)	
	統合後の教室	教室改修により対応可	教室改修により対応可	
プール	設置年度	※プールは内海小学校(築46年)を利用(移動はスクールバス)	S46年度	
	築年数		49年	
	規模		大プール 25m×15m×1.1m 小プール 10m×6m×0.6m	
駐車場の状況(通常時)			37台	25台
行事等開催時の保護者等駐車場(近隣施設利用含む)			約90台 (持宝院、町観光協会駐車場含む)	約95台 (役場、給食センター駐車場含む)
建物の健全性	本校舎	耐震安全性	○	○
		健全度(※2)	85	85
	特別教室棟	耐震安全性	○	○
		健全度	75	83
	体育館	耐震安全性	○	○
		健全度	86	85
吊天井落下防止対策工事の必要		なし	あり (武道場)	
躯体の健全度 予備調査結果 (本校舎)	コンクリート強度区分		○	△
	中性化※3 進行度	中性化深さ	△(3cm以上5cm未満)	△(3cm以上5cm未満)
		鉄筋の状態	△	△
	残存耐用年数		予防保全により20年以上 共用可能	15年程度の共用は可能
■その他	(1) どちらの学校も、鉄筋コンクリート造学校用施設の「法定耐用年数47年」を経過している施設を保有しており、今後も継続して使用するためには長寿命化のための改修工事が必要となる。			

評価項目			内海中学校	豊浜中学校	
③ 防災面	地震・津波避難	津波浸水時の被害想定 (※4)	建 物	津波浸水想定 区域外	津波浸水想定 区域外
			運動場	津波浸水想定 区域外	津波浸水想定 区域外
		津波災害警戒区域 (※5)	建 物	警戒区域外	警戒区域外
			運動場	警戒区域外	警戒区域外
		学校における二次避難 場所	場 所	中学校の裏山	学校敷地が標高 41mであるため、二次避難場所は設置していない
			標 高	50m以上	
	移動距離/時間		0.5km/8分		
	土砂災害	土砂災害警戒区域 (※6)	本校舎、特別教室棟、 体育館敷地が警戒区域	北側進入路が警戒区域 南側進入路、敷地の西側 が特別警戒区域	
	避難所指定 (町地域防災 計画)	風水害	体育館、武道場 (地区 拠点基地)	体育館、武道場	
		地震・津波災害	二次避難所 (地区拠点 基地)	二次避難所	

※1) 築後経過年数：令和2年4月現在の建築後経過年数

※2) 健全度：学校施設の長寿命化計画策定にあたり、文部科学省の基準により、躯体以外の屋上防水、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備の劣化の状況の評価した値（数値が低いほど劣化が進んでいる）

※3) 中性化：コンクリートの中性化が進行し、鉄筋部分まで侵食すると、鉄筋に「錆」が発生し、錆からくる膨張、膨張によるひび割れにつながる。

※4) 津波浸水時の被害想定：南海トラフ地震・理論上最大想定モデルにおける津波浸水想定区域

※5) 津波災害警戒区域：津波浸水想定を踏まえ、津波による人的被害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域

※6) 土砂災害警戒区域：土砂災害防止法により、愛知県が指定する土砂災害のおそれのある区域